



研究現場における バーチャルリアリティ (VR) ・ 複合現実 (MR) 技術活用動向からミライのスタイルを考える

Society 5.0 時代を迎え、5G通信網

が整備される未来の日本では、コミュニケーションの仕方が多様化・アップデートされます。ヒト同士の通信だけではなく、モノとの情報通信が研究の現場にも配備され、ヒトはより自由な知的生産の環境を自分用につくることが出来るようになります。

本講演では、それに先駆けて北海道大学で実施した、VR・MR・360°動画通信の複合的な運用による研究環境改善実験の実例紹介を行います
(検証協力:北海道大学 超高压電子顕微鏡室)。

併せて、VRゴーグル・HoloLensなどの他の活用事例を紹介し、利用シーンを実際に体験して頂きます。

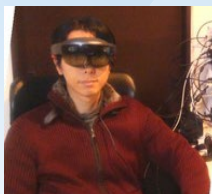
みなさんと一緒に新技術の活用法を考えることが出来ればと思いますので是非ご参加ください。

Hokkaido MotionControl Network (DoMCN)

石岡準也: Junya Ishioka

2012年 博士 (工学)
カイラル電荷密度波

2012~2018年
北大エネマテセンター PD
ZnO結晶の液中光誘起反応その場TEM観察
複合量子ビーム超高压電子顕微鏡の指導など



Facebook

2018年~
Hokkaido MotionControl Network(共同設立)
大学・地域開発コミュ連携担当として全国的に広報
日本VR学会公認 上級バーチャルリアリティ技術者

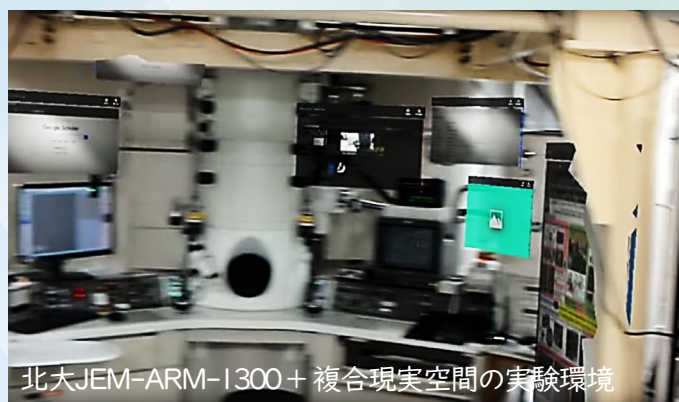
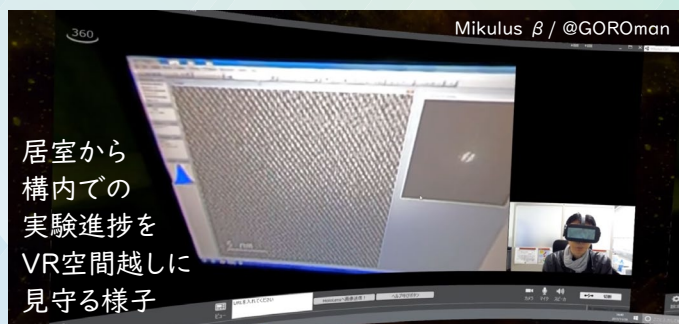
Twitter ハッシュタグ: [#DoMCN](https://twitter.com/DoMCN)

日時

2019年 7月 30日 (火) 入場無料
13:30~15:00 (受付 13:00~)

場所

千現地区 8F中セミナー室
国立研究開発法人 物質材料研究機構



申込
QRコード